2019年度 第4回JICA国際協力JOBセミナー

アフリカで働く

2019年12月10日（火）19:00~21:00
JICA市ヶ谷ビル国際会議場

プログラム

■「アフリカの課題とJICAの取り組み」

・JICAアフリカ部
計画・TICAD推進課長　上野 修平

■「私のキャリアとアフリカ」

・サラヤ株式会社　海外事業本部 課長補佐 兼
アフリカ開発室 副室長　森 窓可 氏

・アイ・シー・ネット株式会社
コンサルティング事業部　第1グループ
渡邊 潤 氏

・JICA国際協力専門員(農業開発・農村開発)
相川 次郎

■登壇者によるパネルディスカッション/質疑応答

セミナーの詳細・
最新情報、
参加申し込みは
PARTNERから

http://partner.jica.go.jp/

PARTNER
国際キャリアへ　学び、つながり、働こう。

SPEAKERS 登壇者 PANELISTS

ソーシャルビジネスを通じてアフリカの課題解決を実践。

森 窓可 氏
<サラヤ株式会社　海外事業本部課長補佐兼アフリカ開発室副室長>

大学卒業後、青年海外協力隊としてネパールに着任、子どもたちが自発的に学ぶための低予算の算数教材を小学校に提案。また、子どもの間違いから指導法を考える教師向け研修を実施。帰国後、アウトドアメーカーを経てビジネスで開発途上国の課題解決を実践するサラヤに就職。ウガンダSaraya Manufacturing（U）Ltd.とSaraya Kenya Co., Ltd.の設立に関わり、ウガンダ製アルコール手指消毒剤を普及、現在はエボラ出血熱などの緊急対策にも活用される。農林水産省フードバリューチェーン案件、JICA高衛生・高付加価値製品の案件化調査、経産省飛び出せジャパン案件を通じて食品加工、食品衛生に関する事業化も企画中。

フランス語圏アフリカ地域の保健医療分野で活躍中。

渡邊 潤 氏
<アイ・シー・ネット株式会社 コンサルティング事業部第1グループ>

大学卒業後（2009年）、看護師として総合病院に勤務。その後、青年海外協力隊のエイズ対策隊員としてガボンに赴任。帰国後、大学院に進学し、カメルーンにて感染症についての研究を行う。2016年より現職。現在は、保健医療のコンサルタントとして、仏語圏アフリカ3カ国目となるセネガルにて、JICAの「保健システムマネジメント強化プロジェクト」と「コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト」に従事中。

アフリカの農業開発・農村開発分野での豊富な現場経験。

相川 次郎
<独立行政法人国際協力機構(JICA)　国際協力専門員>

農学部卒業後（1991年）、青年海外協力隊に参加。タンザニアの高地でモモとプラムの栽培指導に携わる。帰国後、大学院にてミカンと土壌微生物の研究。NGOを経てJICA専門家としてタンザニア、ケニアに赴任。2010年より国際協力専門員として農業農村開発案件全般に携わる。特に、ケニアで開発された農業普及手法である市場志向型農業振興(SHEP)アプローチの広域展開を主導。技術協力の現場における心理学の活用に着目している。「国際協力の心理学」を主筆。

講演・ファシリテーター

上野 修平
<独立行政法人国際協力機構(JICA)
アフリカ部計画・TICAD推進課長>

教育学部卒業後（1999年）、コソボにて国連ボランティアとして働き、JICAに就職。本部勤務、フランス語研修の後、2005年から2009年までセネガル事務所にて保健分野の案件形成・管理を担当する。その後、OECD日本政府代表部（外務省出向）、米国大学院留学（公共経営）を経て2012年に本部に戻り、西アフリカ保健分野の協力、世界銀行・IMFとの連携、中西部アフリカへの協力に関わり、2019年8月のTICAD7準備を担当する。現在は、JICAアフリカ部の総括やアフリカ地域横断的事項を担当。